1810

1

息子夫婦が来る

玄関あけてみる

雨やし　水たまり　少しはへっている

よかった

ただ　あつくなると言っている

なぜ　こんなに　あつくなるのか

お天気は昔情を云っても　どうにもならない

三十一度は「クーラー」場合にはたらくなくて

はたらかない

「クーラーのいそがしい日だ

そうだ　台所を見てこよう

「なめくじ」いなかった

排水こうを掃除してから　来なくなっている

よかったことの　もうひとつは　大切なことだが

足を見る　むくみが少しひいた

足くびは　太い足だが　ゆびの子は　ちんと

か　三日目で　ちょうとよくなった

実のことを　言わなくてすむ

「ムギッア」がある

かるりから　どうぞ　と言える

何となく寿司の方は「どうぞ」と言っている
つもり年寄っている だ
玄関の「あさがお」 ちこぶる 元気
しなげった葉を 見ふが手入れする
「ちくたっていいよ」 と思っても
思っているだけ
何のたすけにも なうない
今日の私は 子ういあつい
いつも「すまない」と思っている
「もう手入れはすんでいるよ」

と言ってみたい
奥さんの方は おいしいものつくり
ただ「ありがとう」だけだ
本当にありがとう

2023
6/17

コクヨ ケ−70 20×20